



がんば

島原市立第三小学校
育友会報
発行部
広報部

【第93号】

第8回 市民音楽祭



やりとげた

満足感！

一五三人の心はひとつ

指導 元村浩子先生

十一月十四日、第八回島原市民音楽祭が市の文化会館で行われ、三小は、五年生全員による器楽合奏で「涙のキャン」と「ギブ・ミー・アツク」を演奏しました。

五月、市民音楽祭をどうするかということと先生方と話し合い、

五年生を出すことになりました。子どもの希望をとりながら、誰がどの楽器をするか決めていき、七月に楽器ごとのパート練習、九月から全体での早朝練習を始めました。

楽器によっては、昼休みに集めて練習することもありました。また、音楽祭が近づいて、早朝、昼休み、放課後と、子どもたちの遊びたい時間を犠牲にして練習すること

もありました。

でも、市民音楽祭に参加することで、きつい思いをしてがんばって一つのことをやりとげた時の満足感と、一五三人の子どもたちが、心をひとつにして一つの音楽をつくりあげていくことのすばらしさを感じてほしいという願いを支えに、指導してきました。初めはいいやいやながら練習している子どもたちでしたが、音楽祭が近づいてくるにつれて、真剣な目つきに変わってきました。



いよいよ当日。リハーサルでは、私も子どもたちも完全にあげてしまっ、いつもの調子を出すことはできませんでした。

しかし、本番では、指揮台の上にあがった私の手を見つめる子どもたちの目は真剣そのもの。演奏もすばらしいものでした。

早朝練習、放課後の練習もいっしょに指導して下さった五年生担任の先生方に支えられて、子どもたちは、本当によくがんばったと思います。

父親参観日

学級部部长

前田 清 徳

父親に、学校での子供達の勉強ぶりをみてもらう、又、ふれあいの機会をもつ事を、私達学級部の目的として、十

一月二十七日(金)に父(母)親参観日として実施致しました。当日、廊下で知り合いの父親に会いましたところ、「二年〇組は、どこじやるかい」と聞かれ、私は「おいも、よう知らんと」と応えました。父

まるで自分が授業中!!のお父さん



親とは私も含め、こんなものだなあと心の中でおかしくなりました。

全学年一斉の授業参観の為、かけもちのお父さん、お母さん方の小走りの姿も見かけられました。我が子の教室での子供は如何だったでしょうか。授業参観後ですが、先日、十一月五日白山公民館で、話し合いました結果、各学年で行事計画をする事に決まりました。ところが当日(二十七日)に雨が降り、運動場が使えなく当初の計画を変更された学年があり、本当に残念でなりません。

三年生の場合は、林田尚三先生の海外研修視察の講演をして頂き有とございました。表は参考のため調べたのですが、参観後は仕事のために三分の一度の人数ですが、逆に考えれば忙がしい合間を縫って多くの方が勉強ぶりをみに来られたとも言えます。当日御協力下さいました代議員さん、先生方、本当にありがとうございました。

父(母)参観出席者数

(複数回答)

	授業参観		参観後	
	男	女	男	女
1年	30名	85名	8名	29名
2年	41	83	26	68
3年	27	69	9	22
4年	20	50	7	24
5年	20	47	12	18
6年	20	50	9	26
愛情		6		6
合計	165名	390名	71名	193名

こどものきもち

五年三組
満井 美巳子



お父さん来てるかなア

父親参観の日、お父さんが来るか心配でした。五校時目のチャイムがなって、教室へもどると、たくさんのお父さんやお母さんが、後に立っていました。私は、少しきんちようしました。授業が始まって、お父さんが来ているか気になって後をちらちら見ていました。でも、お父さんは来ていませんでした。私はお父さんがこなかったのは、仕事がいそがしかったのだと思っていました。でも、おわりのあいさつの時、前のドアの方を見ると、ろうかにお父さんがいてこっちの方を見ていました。私はその時ドキッとしました。でも、

仕事がいそがしいのに来てくれて、とつてもうれしかったです。

六年一組
古瀬 結香

11月27日は父親参観日で、私の父も会社をぬけてきてくれました。授業が終わると、二年生といっしょにおいかけ玉入れや歌を歌って遊びました。私の父はおいかけ玉入れのかごをかっいで走ってくれて、とても楽しかったです。でも、父親参観日なのにお母さんの方が多かったので、少し残念でした。だから、ふつうの参観日にも、こんなレクレーションがあればいいと思います。

クラブ紹介

お馴染みになりましたクラブ紹介。さて……

器楽クラブ



- ①担当者 元村 浩子先生
弘子先生
- ②部長名 西 岩本 美和
- ③人数 四年…十五人
五年…十一人
六年…十六人

④活動内容

いろいろな楽器の扱い方や演奏のし方を理解し、器楽合奏を楽しむ。

⑤テレビマンガの主題歌からクラシックまで、いろいろな曲に挑戦しています。心をこめて演奏することに心がけ、楽器の扱い方や楽譜の

見方など、お互いに教えあいながら、みんな仲良くがんばっています。

フットベースボールクラブ

- ①担当者 隈部 昭三先生
- ②部長名 宮川 亜紀
- ③人数 合計…二十名
六年生…八名
五年生…二名
四年生男子五名
女子五名

④活動内容

ABそれぞれのチームで、基本基礎練習と、試合形式による練習とを実施している。

⑤いい試合ができそうです。



読書クラブ



- ①担当者 島峯 律子先生
- ②部長名 古瀬 結香
- ③人数 四年…六名
五年…二名
六年…五名

④活動内容

○好きな本を読む。
○読書記録、感想文を書く。
○自作童話を書く。

⑤この時間は、未知の人と出会い、未知の経験をし、まだ見ぬ土地に遊び、未知との遭遇に心ときめかしている子どもたちです。

絵画・焼物クラブ

- ①担当者 渡邊 徳藏先生
塚本 直子先生
- ②部長名 宮川 恵美
- ③人数 合計…二十一名
四年…七名
五年…七名
六年…七名

④活動内容

絵画製作、焼物製作。

⑤最初はおっかなびっくり、どろまんじゅうか、へびのできそこないでしたが、今は、土をこねる手もさまになってきました。



バレーボールクラブ



- ①担当者 田中 益良先生
大平美恵子先生
- ②部長名 山崎 知子
- ③人数 四年…九名
五年…十一名
六年…八名

④活動内容

バレーボールの基本であるパス、サーブ、アタックをやっています。

⑤パスなどの技術を習得するのはむずかしいので、思うようにゲームができません。学級部で購入されたミニバレーボールをつかわせてもらっています。子どもたちにはなかなか好評です。

県P大会に参加して

環境部 上田 すず子



秋晴れの十月十七日、十八日の両日、諫早において、県P大会が開催されました。一日目は、研究課題を参加者全員で、二日目は、「当面する教育の諸問題解決のためにPTAはどうすればよいか」をテーマに分科会で討議されました。

提案者側の発表では、地域によって、特に町の中心部の学校では、青少年を取り巻く環境から、言葉使いや、問題を起こす生徒が多い。挨拶にしても言葉でもどってこない大人の子供に対する姿勢が必要だ。など活発な意見が出され、又、助言者側のまとめでは、日曜学校参観日に対する学校行事の扱い方などが話されました。私が感じたことは、学校と家庭とが一体となり、何事にも実践してこそ、家庭教育、

学校教育の効果が期待できるのではないのでしょうかと思います。初めて大会に参加し、貴重で、有意義な経験をさせていただきました。



先輩の教え

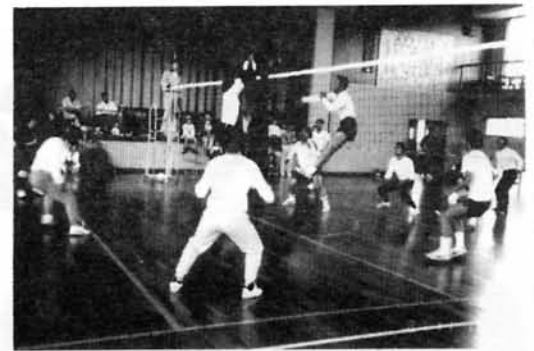
育友会長 松尾 正敏



先日、一冊のメモ帳を見つけた。もう何年も前に同

業者の大先輩が、自分の家に伝わる「家訓」を例にとつて講義をされた時、面白かったので記録していたものである。その大先輩も、度々人生の心得として若者に披露されたと云うことなので、私も総べて引用させて頂く。

- 一、責任逃れをすべし。
 - 二、人の事まで責任を持つな。
 - 三、人の失敗は見逃すな。
 - 四、大いに威張るべし。
 - 五、大いに威張るべし。
 - 六、細かい事にしつこくせよ。
 - 七、優柔不断であれ。
 - 八、ケチであれ。
 - 九、功は一人占にせよ。
 - 十、陰険であれ。
- この十ヶ条をかたく守れば、確実に人に嫌われるようになるのだそうである。 嗚呼



昭和六十二年度 育友会町内対抗 バレーボール大会結果

- Aパート
 - 一位 崩山 A
 - 二位 三小
 - 三位 坂上
- Bパート
 - 一位 みなと
 - 二位 西八幡町
 - 三位 緑町
- Cパート
 - 一位 崩山 B
 - 二位 栄町
 - 三位 津町有馬船津

講演会 「子供と食生活」について

保健給食部 中島 俊子

十一月十二日、「子供の健康と食生活」という演題で、市の保健婦さんにお話を聞かせていただきました。

缶ジュースには、大さじ2杯分の砂糖がはいっていること、化学調味料には舌には感じないが、塩分が多く含まれていること、柔らかいものばかり食べているとあごが発達せず、歯並びが悪くなることなど、体験談を交えながら、楽しい雰囲気でお話を進んでまいりました。

後半は、増えつつある肥満児に關した映画を見せていただき、子供の健康を管理するのは私達母親の役目なのだとの再確認しました。子供のうちから薄味に慣れさせ、塩分糖分の取り過ぎに注意したいと思えます。

これは共働きの方に耳寄りな話ですが、「おやつボックス」を決めてその日のおやつを入れ、簡単なメッセージを添えておくと親子のコミュニケーションにも役立ち、一石二鳥ということですか。あなたのためしてみませんか？

交流学習を終えて

六年二組
本多 奈美

車イスに乗っている人を見て、私はなぜか悲しくなりました。話すこと、動くことができない人で泣きたかったです。

私がいっしょに遊んだ馬場ゆうじ君は、最初おとなしくなかなかしゃべらないでだまっていたけど、だんだんと慣れてきたようで、しゃべってくれたので安心しました。

おどりの時は、自分でおどりを作っているようで、私と両手をつないで、回るのが好きらしく、どんな時もクルクルと回っていました。回っているとなぜか楽しくなってきました。

養護学校の終わりの言葉になぜか泣きたい気持ちを感じました。はつきり聞こえなかった言葉ですが、一生けん命「ありがとうござ」「仲良く」と言っていました。一つ一つの言葉を大切にしていることがすばらしかったです。

自分でも泣きたいことがどうしてか分かりませんが、私も周りの人を見習って、一生けん命がんばりたいと思います。



「市民音楽祭」に参加して

五年一組
中 蘭 亜 矢

楽器の準備を終えた。学校での最後の練習は、安心といっしょに、心配となった。バスに乗って、会場へついた。他の学校の人は、どんなすごい演奏を聞かせてくれるのだろうと、不安と共に会場へ足をふみ入れた。

もう他の学校の演奏が始まっていて、一曲ごとにはく手をした。

私たちの番がきた。いくらリハーサルでも、きんちょうしき。他の人の目が注目し、しきの手が動いた。一生けん

命ひいていたら、いつのまにか終わった。

いよいよ本番。出番は、ま近にせまった。前の学校が終わり、はく手が目をさませされた。

入場を終えると、「れい」と声が出た。しきの手がふれ、観客の目がこつちをむいた。知らない間に終わってた。はつとわれに戻ると、はく手の嵐だった。カメラの光がまぶしかった。退場して、そのまま、バスに乗った。観客のはく手が、まだ耳に残っていた。私は、満足感でいっぱいだった。

みかんせんか場見学

三年一組
藤 澤 英 治

11月27日、みかんせんか場に見学に行きました。南島原駅から島原駅まで5分汽車のりしました。それから30分歩いてやつとせんか場につきました。さっそくせんか場の中を見学しました。

一階はベルトコンベヤーやエレベーターやよそ庫があり、エレベーターやよそ庫はみかんに色をつける所で、ガスでみどり色から黄色にかえるそうです。すごいなあと思いました。そして二階は、みかんの大

きさをしらべるあなのあいたきかいがあり、S・M・L・LLに分けてはこずめにしていました。はこもきかいで作っていました。きかいですると時間も早く、はたらく人も少なくすむのでべんりだなあと思いました。

ぼく達がなげなく食べているみかんは、いろいろな人の手がかかっているのだということがよくわかりました。家にかえて、せんか場でもらったみかんを食べたら、あまくてとても、おいしかったです。

えきの見学

二年一組
山 口 けいすけ

えきの人たちは、おきやくさんを安全にはこぶために、がんばっていると思いました。汽車がじこをおこさないように、点検の人もいることがわかりました。そして、それは大切なしごとだと思いました。

パン工場の見学

二年二組
浜 田 きみ子

パン工場には、たくさんのきかいがありました。パンを

まるめるきかい、ふくらませるきかい、やくきかいなどありました。わたしは、あせをながしながらしごとをするのは、大へんだなと思いました。

パン工場見学

二年三組
池 田 しゅう一

パン工場に見学にいきました。はじめに、こねているところを見せてもらいました。こねている時、手でふしをとっていたので、「ちゃんここねてあるのかしらべているのかなあ。」と思いました。とてもためになりました。

えきの見学

二年四組
ひろせともりのり

ぼくは、南島原えきからたいらまでいくれつしやにのつてるあいだに、二くみのつだくんや、しらないおばさんとなかよしになつてうれしかったです。よこになつてるせきや、たてになつているせきが、あつたから、びっくりしました。



愛児を抱いているのが熊本さん



がんばるマン
コーナー

熊本勇治さん

北風の厳しい師走の中、霊南の子供達はリヤカーに空ビンを沢山乗せ、廃品回収の真最中です。指導にあたっておられるのは、熊本勇治さん他数名の方々です。

霊南の子供クラブは、ここ数年、三小の子をリードする各種事業を取り入れ、活発な健全育成を図っている地域です。

「子供のためじゃんば、大人も出来るこちや精一杯頑張らにや。」酒飲んで育友会を語る言葉は文字通り「熊」のよう、周りの人を圧倒し続ける。

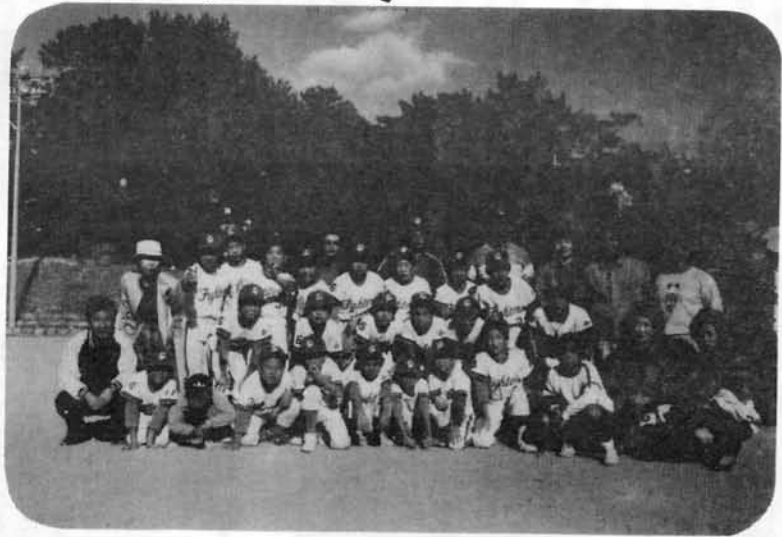
手八丁口八丁のこの方は、育友会の教養部長さんであり、ある時は霊南ソフトボールの心やさしい監督でもあります。



迎 幸 八 さん

栄町ソフトボールクラブの監督は迎幸八さん。物静かな容姿とは逆に、内に秘めた闘志は並々のもの。

夏休みは、朝早くから子供達と一緒に汗を流し、冬は走り、その様子を見ると生真面



思い出のスナップ

目な子供思いの指導者です。でも、堅そうなイメージとは異なり、趣味も多く、ゴルフ、マジャン、謡など巷の噂では、みな超一流(!!)だとか。

これからも、地域のため子供のため活躍を期待されている方です。



がんばの発行を通じて、顔を合わせ、「ああでもない、こうでもない……」と検討を重ね、紙面で島三小の育友会活動を紹介することを、一番の楽しみ(う)と感じている部員面々です。

とは言っても、各人それぞれ本業を終えた後、午後七時すぎ、愛する家族の理解と協力を得ての編集会議出席です。苦勞もありますが、印刷発注から校正までは、楽しみでもあります。

「がんばを是非読んで下さいネ!!」 部員一同(写真)



83.10.22